

## 地域の経済動向（令和4年4～6月期）

### 《釧路・根室地域》

#### 1 経済動向に係る企業等の声（4～6月期）

##### 【建設業】

##### 【製造業】

- ・国際情勢の変化より、目の前の原材料の確保が最優先である。（水産食料品製造業）
- ・新型コロナウイルスの影響はそれほど大きくないが、影響は受けている。昨年、一昨年は、受診控えや手術延期により輸液の売り上げ減。取引先の影響は、特になし。（医薬品製造業）
- ・ふるさと納税を実施しており、コロナの影響で店頭売上は落ちたがネットの注文が増加したため、店頭売上の減少を補えている。（食品製造業）
- ・物産展へはあまり参加しておらず、ネット販売利用者や店に直接来るお客さんが主な顧客。（食品製造業）
- ・鮮魚や加工品など色々な商品を取り扱っているため、コロナによる業績の悪化はそれほど感じていない。商品はネット販売の他、給食での提供や中標津町内の自動販売機で販売している。自動販売機は1日に2回補充することもあるなど、売れ行きは好調。（食品製造業）
- ・新設備導入のタイミングや事業をどのように運営していくかが今後の課題。（食品製造業）
- ・パートも含めて常時30名ほど雇用しており、秋鮭の時期など忙しい時期には60～70名雇用しており、そのうち正社員は5～6名。時期によって足りなくなる時がある他、従業員の高齢化（50～60代の従業員の増加）も感じている。取引先の企業は衛生面での基準が厳しいため、言葉の通じない外国人の雇用は難しい。（食品製造業）
- ・町内には新商品を作るなど新たな取り組みをしている漁師なども多くいるため、それらの商品をうまく売り込めるように協力いただければありがたい。（食品製造業）

##### 【卸売・小売業】

- ・課題が複合的に絡み合い、消費者の購買意欲を低下。今年後半にかけて、かなりの数の企業が倒産、廃業、休業に追い込まれると思う。（衣服卸売業）

##### 【運輸業】

- ・新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せはじめた矢先に、世界情勢が変化し、景気の回復は難しい。一番の影響は燃料価格上昇による経費の増加。価格から補助金分が減額されているため、何とか耐えている状況だが、運賃アップや燃料サーチャージを受け入れていただける先が無いため、限界に近づきつつある。（一般貨物自動車運送業）
- ・コロナ禍での生活様式の変化と定着により、街全体の先行きも見えない中、ウクライナ問題による地元漁業者の不安感、石油価格高騰による経営への圧迫感なども重なり、非常に厳しい状況。（一般乗用旅客自動車運送業）
- ・原油や運輸業に関わる工業製品が軒並み高騰し、経営が圧迫。軽油、タイヤ、オイル等を使用しないと仕事にならないため、製品や運賃に転嫁できれば良いが、それにも限界があり、車輛の台数を減らすか、人員の削減等より一層のコストダウンをしていかなければならない。（一般貨物自動車運送業）







##### 【サービス業】

- ・求人情報誌等を活用して求人活動を行っても、地方中小企業への応募者が少なく、人材不足。地方出身者が大学や専門学校を卒業後に、地元企業で就職するような仕組みづくりが必要。（土木建築サービス業）※
- ・今般の新型コロナウイルスの感染発生などの影響により、肉用子牛の価格低迷や燃料価格の高騰があり経営環境が不安定となっている。（酪農業）









##### 【関係機関・団体】

- ・35～45歳くらいの酪農経営者は、親世代が建てた工場の老朽化への対応として設備投資を行っている時期であり、そのタイミングでの生乳生産抑制であるため、かなり厳しい状況になっている。（農業団体）
- ・物産展への参加で道外へも商品をアピールできるため、窓口を広げてくれればありがたい。（農業団体）
- ・観光は回復基調、水産加工関係は魚卵の値段が上がっていて、来年以降が心配。酪農関係は、飼料価格が高騰して経営を圧迫している。来年の飼料価格も既に上がることが決定しており、かなり厳しい状態。（金融機関）

















2 道内金融機関から見た地域景況感 (4～6月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

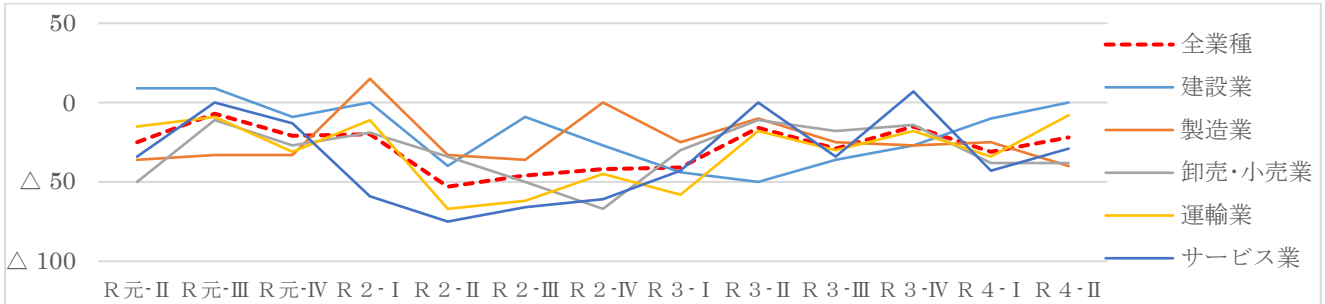
【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産動向	消費動向	判断理由	方向感	判断理由
釧路信用金庫				新型コロナウイルス感染症の影響が甚大であった宿泊業や飲食業では、コロナ禍前の水準には到底及んでいないこと、また道東沖で発生した赤潮による漁業被害、年末年始にかけての生乳の廃棄問題などの影響もあり、経済の持ち直しにむけた動きが足踏み状態にあると判断している。		新型コロナウイルス感染症、特にオミクロン株の感染状況によって流動的ではあるものの、事業再構築に向けた各種取り組みや前向きな設備投資も徐々に見受けられることから「上昇傾向」と判断した。
大地みらい信用金庫				新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、8月27日～9月30日の期間で北海道に発令されていた緊急事態宣言が解除されたことにより、出張等移動の制限が緩和され、管内宿泊施設においてはビジネス目的の宿泊客が増加。新しい旅のスタイル(道民割事業)の区域制限の解除以降は、総体的に宿泊客が増加傾向。また、飲食店では、自粛緩和の影響で通常利用客が回復。一方、生産面では道東沖沿岸で発生した赤潮による漁業・水産業への打撃は甚大なものであり、総じてやや低調という判断。		新型コロナウイルス感染症のオミクロン株急拡大により、管内でもクラスターが相次いで発生し、過去最多の感染者数を更新する状況の中、再度不要不急の外出・移動を自粛する傾向が強まっている。ワクチン3回目接種の予約受付が釧路市、根室市で今月中に開始されるものの、全世代に行き渡るまでは時間を要する見通し。したがって、1～3月期は総合的に経済活動が停滞・下降すると判断。

【景況感の推移】

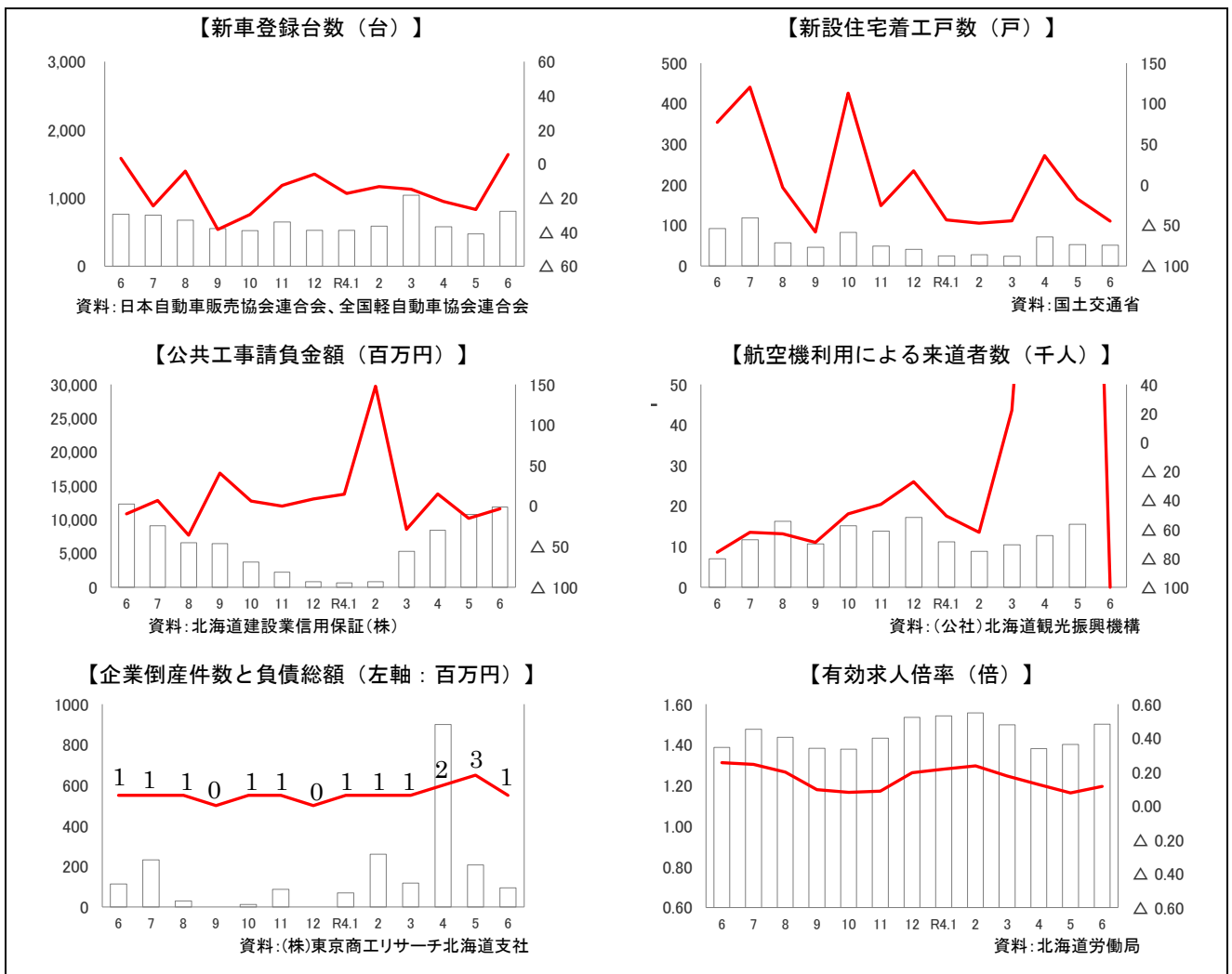
	R2-Ⅲ	R2-Ⅳ	R3-Ⅰ	R3-Ⅱ	R3-Ⅲ	R3-Ⅳ	R4-Ⅰ	R4-Ⅱ
釧路信用金庫								
大地みらい信用金庫								

### 3 業種別の業況感BSI（企業経営者意識調査）



	R元-II	R元-III	R元-IV	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II
全業種	△ 25	△ 7	△ 21	△ 20	△ 53	△ 46	△ 42	△ 41	△ 16	△ 29	△ 15	△ 31	△ 22
建設業	9	9	△ 9	0	△ 40	△ 9	△ 27	△ 44	△ 50	△ 36	△ 27	△ 10	0
製造業	△ 36	△ 33	△ 33	15	△ 33	△ 36	0	△ 25	△ 10	△ 25	△ 27	△ 25	△ 40
卸売・小売業	△ 50	△ 11	△ 27	△ 19	△ 34	△ 50	△ 67	△ 30	△ 11	△ 18	△ 14	△ 38	△ 38
運輸業	△ 15	△ 9	△ 31	△ 11	△ 67	△ 62	△ 45	△ 58	△ 18	△ 30	△ 18	△ 34	△ 8
サービス業	△ 34	0	△ 13	△ 59	△ 75	△ 66	△ 61	△ 43	0	△ 34	7	△ 43	△ 29

### 4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差)：%)